

※ 太枠内をご記入ください。

用紙は3枚複写式です。記入いただくのは1枚目です。

預金口座振替依頼書				お客さま控	
いつも三井住友銀行をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 白抜き部分のみ強くご記入ください。					
三井住友銀行 年 月 日					
受取人名	大阪弁護士会		対象料金	受取人が指定する料金等	
フリガナ					
おなまえ	引落を行う口座の口座名義 (法人名義口座の場合、代表者名等、銀行に届けている 名義どおりに記入してください)		2枚目に押印してください。		
指定 預金口座	お取引店	預金の種類	口座番号(太枠にご記入ください)	署名取引の方はご署名のうえ、暗証番号をご記入ください。	
	支店	1.普通 2.当座		口座番号は7桁以下の時は右詰めにし、 空欄に0を記入ください。 例：12345なら0012345と記入	
支店名も必ずご記入ください。			3枚目の契約者印欄に本人の認印		
フリガナ	所属事務所住所又は自宅住所		振替開始・終了時期		
おと ころ					
フリガナ	職務上氏名 (弁護士法人会費の引落の場合は法人名のみ)		振替日		
おなまえ					
契約者番号等 (参考)	累計	区分	番号(右揃えて記入ください)	受取人が指定する日	
			00		
記 - 貴行に請求書が送付されたときは、私に通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえ支払ってください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳、同払戻請求書の提出または小切手の振出しはしません。 - 振替日において請求書記載金額が預金口座から払戻すことのできる金額(当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む。)をこえるときは、私に通知することなく、請求書を返却してもさしつかえありません。 - 受取人の都合で契約者番号等が変更になったときは、変更後の契約者番号等で引続き取扱ってください。 - この契約を解約するときは、私から貴行に書面により届出ます。なお、この届出がないまま長期にわたり受取人から請求がない等相当の事由があるときは、とくに申出をしない限り、貴行はこの契約が終了したものととして取扱ってさしつかえありません。 - この預金口座振替についてかりに紛議が生じても、貴行の責めによる場合を除き、貴行には迷惑をかけません。 (銀行使用欄) 株式会社 三井住友銀行 代(107) 代(107)5414/C[1束(50組)](3-1)(7906. 1994.10) 2020.10 研					

2枚目に引落口座の銀行お届け印
※印鑑レス口座の場合は、任意の印鑑を押印ください。

預金の種類をどちらか選択してください。

3枚目の契約者印欄に本人の認印

お引き落としを希望する方の氏名をご記入ください。

注意事項

- 銀行お届け印の誤りや印鑑不鮮明、印鑑漏れで銀行より受付されず書類が返却されるケースが多く見受けられますので、印鑑はお届け印かどうか必ずご確認のうえ、鮮明に押印ください。
- 印鑑レス口座をご指定の場合は、任意の印鑑を押印ください。追って銀行から意思確認等のお知らせが届く場合がありますので、お知らせの内容に記載の期限までにご確認・手続きをお願いします。
- 記入に誤りがあり、訂正が必要な場合は、訂正箇所に二重線を引き、その上に訂正印（銀行お届け印）を押印し、空いたスペースに正しい内容をご記入ください。なお、複写式ですので誤って記入した場合の訂正印（銀行お届け印）は2枚目と3枚目にも押印が必要です。
- 口座番号7桁の数字のうち1箇所の数字を誤った場合は一旦すべての数字に二重線を引き、その上に訂正印（銀行お届け印）を押印し、空いたスペースに再度正しい口座番号をご記入ください。
- ご提出いただくのは用紙の2枚目（銀行お届け印）と3枚目（認印）です。1枚目は本人控えとなりますので外していただき、お手元で保管ください。

※ 太枠内をご記入ください

用紙は3枚複写式です。記入いただくのは1枚目です。

預金口座振替依頼書

お手数ですが太枠内にご記入・押印ください。

お申込日
(和暦) 年 月 日

三菱UFJ銀行 へて

収納企業さまご記入欄

収 納
企業名 大阪弁護士会料金等
の種類契約者
番 号お引き落としを希望する方
のご氏名をご記入ください。

ご契約者（預金者）さまご記入欄

〒 電話番号 ()

契約者
おところ 所属事務所住所又は自宅住所

フリガナ

契約者
おなまえ 職務上氏名
(弁護士法人会費の引落の場合は法人名のみ) 様

2枚目に
契約者印
を押印く
ださい

2枚目の契約者印欄に
本人の認印私は、上記の収納企業から請求された金額を下記預金口座から預金口座振替によって支払うこととしたいので、
裏面記載の預金口座振替規定を確約のうえ依頼します。

支店・出張所名は必ずご記入ください。

記

銀行名 三菱UFJ銀行

支店名

銀行コード 0005

支店コード

出張所

預金口座

預金種目 ☒ 普通 ☒ 当座

口座番号

フリガナ

銀行お届け印

預金者
おなまえ 引落を行う口座の口座名義
(法人名義口座の場合、代表者名等、銀行に届けている
名義どおりに記入してください) 様

支店コードも記入して
ください。1枚目に引落口座の
銀行お届け印
※印鑑レス口座の場合は
任意の印鑑を押印く
ださい。

預金種目をどちらか選択してください。

口座番号は7桁以下の時は右詰めにし、
空欄に0を記入ください。
例：12345なら0012345と記入

振替日 収納企業の指定する日（銀行休業日の場合は翌営業日）

代表委託者番号

返却理由 1. 口座番号相違 4. 預金種目相違
2. 届出印相違 5. 訂正印もれ
3. 該当口座なし 6. その他 ()

返 却 先

店 番 店 名 印鑑照合

①収納企業さま → 契約者（預金者）さま → 収納企業さま → 銀行

三菱UFJ銀行

49030 1/3 A4 18.04 (解約後3Y) 934 19.12

注意事項

- 銀行お届け印の誤りや印鑑不鮮明、印鑑漏れで銀行より受付されず書類が返却されるケースが多く見受けられますので、印鑑はお届け印かどうか必ずご確認のうえ、鮮明に押印ください。
- 印鑑レス口座をご指定の場合は、任意の印鑑を押印ください。追って銀行から意思確認等のお知らせが届きますので、お知らせの内容に記載の期限までにご確認・手続きをお願いします。
- 記入に誤りがあり、訂正が必要な場合は、訂正箇所にも二重線を引き、その上に訂正印（銀行お届け印）を押印し、空いたスペースに正しい内容をご記入ください。なお、複写式ですので誤って記入した場合の訂正印（銀行お届け印）は2枚目にも押印が必要です。
- 口座番号7桁の数字のうち1箇所の数字を誤った場合は一旦すべての数字に二重線を引き、その上に訂正印（銀行お届け印）を押印し、空いたスペースに再度正しい口座番号をご記入ください。
- ご提出いただくのは用紙の1枚目と2枚目です。3枚目は本人控えとなりますので外していただき、お手元で保管ください。

※ 太枠内をご記入ください

用紙は3枚複写式です。記入いただくのは1枚目です。



預金口座振替依頼書

株式会社みずほ銀行

西暦 20 年 月 日

私は、下記の収納企業から請求された金額を私名義の下記預金口座から預金口座振替によって支払うこととしたいので、預金口座振替規定を確約のうえ依頼します。

1枚目に引落口座の銀行お届け印

※印鑑レス口座の場合は、任意の印鑑を押印ください。

支店・出張所名を必ずご記入ください。

収納企業名	大阪弁護士会		
預金口座	(フリガナ) 預金者名 引落を行う口座の口座名義 (法人名義口座の場合、代表者名等、銀行に届けている名義どおりに記入してください)	銀行への届出印	みずほ銀行 支店 銀行コード番号 0001 預金種目 1.普通 2.当座 3.納税準備 口座番号
振替日	収納企業の指定する日 (銀行休業日の場合は翌営業日)		

支店コードも記入してください。

預金種目を1・2のどちらか選択してください。

口座番号は7桁以下の時は右詰めにし、空欄に0を記入ください。
例：12345なら0012345と記入

一預金口座振替規定一

- 銀行に請求書が送付されたときは、私に通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえ支払ってください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳、同払戻請求書の提出または小切手の提出はしません。
- 振替日において請求書記載金額が預金口座から払戻すことのできる金額(当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む。)をこえるときは、私に通知することなく、請求書を返却してもさしつかえありません。
- この契約を解約するときは、私から銀行に書面により届出ます。なお、この届出がないまま長期間にわたり会社から請求がない等相当の事由があるときは、とくに申出をしない限り、銀行はこの契約を終了したものとして取扱いをさせていただきます。
- この預金口座振替について十分に紛争が生じて、銀行の責めによる場合を除き、銀行には迷惑をかけません。

(不備返却事由)
 1. 預金取引なし 3. 印鑑相違
 2. 記載事項等相違 4. その他
 (店名、預金種目、口座番号、口座名義)
 (備考)

照合 受付

2枚目の契約者印欄に本人の認印

(収納企業使用欄)		料金等の収納依頼企業名
契約者名	(フリガナ) 職務上氏名 (弁護士法人会費の引落の場合は法人名のみ)	料金等の種類
住所	〒 所屬事務所住所又は自宅住所	
契約者番号等		

お引き落としを希望する方のご氏名をご記入ください。

注意事項

- 銀行お届け印の誤りや印鑑不鮮明、印鑑漏れで銀行より受付されず書類が返却されるケースが多く見受けられますので、印鑑はお届け印かどうか必ずご確認のうえ、鮮明に押印ください。
- 印鑑レス口座をご指定の場合は、任意の印鑑を押印ください。追って銀行からSMSにて登録完了の通知が発信されます。
- 記入に誤りがあり、訂正が必要な場合は、訂正箇所に二重線を引き、その上に訂正印(銀行お届け印)を押印し、空いたスペースに正しい内容をご記入ください。なお、複写式ですので誤って記入した場合の訂正印(銀行お届け印)は2枚目にも押印が必要です。
- 口座番号7桁の数字のうち1箇所の数字を誤った場合は一旦すべての数字に二重線を引き、その上に訂正印(銀行お届け印)を押印し、空いたスペースに再度正しい口座番号をご記入ください。
- ご提出いただくのは用紙の1枚目と2枚目です。3枚目は本人控えとなりますので外していただき、お手元で保管ください。

※ 太枠内をご記入ください

用紙は3枚複写式です。記入いただくのは1枚目です。

預金種目をどちらか選択してください。

預金口座振替依頼書

年 月 日

株式会社 **りそな銀行 御中**

私は、下記の収納企業から請求された金額を私名義の下記預金口座から預金口座振替によって支払うこととしたいので、預金口座振替規定を確約のうえ依頼します。

収納企業名 **大阪弁護士会**

預金 口座	預金 種目	☐ 1.普通 ☐ 2.当座	口座 番号	
	預金 者名	(フリガナ) 引落を行う口座の口座名義 (法人名義口座の場合、代表者名等、銀行に 届けている名義どおりに記入してください)		

口座番号は7桁以下の時は右詰めにし、
空欄に0を記入ください。
例：12345 なら 0012345 と記入

支店・出張所名は必ずご記入ください。

支店コードも記入してください。

振替日 **収納企業の指定する日（銀行休業日の場合は翌営業日）**

1枚目に引落口座の銀行お届け印
※印鑑レス口座の場合は、任意の
印鑑を押印ください。

預金口座振替規定

- 銀行に請求書が送付されたときは、私に通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえ支払ってください。この場合、預金規定または当座約定規定にかかわらず、預金通帳、同払戻請求書の提出または小切手の振出しはしません。
- 振替日において請求書記載金額が預金口座から払戻すことのできる金額（当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む。）をこえるときは、私に通知することなく、請求書を返却してもさしつかえありません。
- この契約を締結するときは、私から銀行に書面により届出ます。なお、この届出がないまま長期間にわたり会社から請求がない等相当の事由があるときは、とくに申出をしない限り、銀行はこの契約が終了したものと取り扱ってさしつかえありません。
- この預金口座振替について十分に協議を生じても、銀行の責めによる場合を除き、銀行には迷惑をかけません。

銀行 使 用 欄	(不備返却事由)
	1. 預金取引なし 2. 記載事項等相違 (店名、預金種目、 口座番号、口座名義) 3. 印鑑相違 4. その他 ()

お引き落としを希望する方
のご氏名をご記入ください。

〔収納企業使用欄〕	
契約者名	(フリガナ) 職務上氏名 (弁護士法人会費の引落の場合は法人名のみ)
住所	所属事務所住所又は自宅住所 (〒) (市) (区) (町) (丁目)
契約者番号等	料金等の 収納依頼 企業名 料金等の 種類

2枚目の契約者印欄に本人の認印

注意事項

- 銀行お届け印の誤りや印鑑不鮮明、印鑑漏れで銀行より受付されず書類が返却されるケースが多く見受けられますので、印鑑はお届け印かどうか必ずご確認のうえ、鮮明に押印ください。
- 印鑑レス口座をご指定の場合は、任意の印鑑を押印ください。追って銀行から意思確認等の連絡が届く場合があります。
- 記入に誤りがあり、訂正が必要な場合は、訂正箇所にも二重線を引き、その上に訂正印（銀行お届け印）を押印し、空いたスペースに正しい内容をご記入ください。なお、複写式ですので誤って記入した場合の訂正印（銀行お届け印）は2枚目にも押印が必要です。
- 口座番号7桁の数字のうち1箇所の数字を誤った場合は一旦すべての数字にも二重線を引き、その上に訂正印（銀行お届け印）を押印し、空いたスペースに再度正しい口座番号をご記入ください。
- ご提出いただくのは用紙の1枚目と2枚目です。3枚目は本人控えとなりますので外していただき、お手元で保管ください。

※ 太枠内をご記入ください

用紙は3枚複写式です。記入いただくのは1枚目です。

預金種目をどちらか選択してください。

預金口座振替依頼書 年 月 日 株式会社 関西みらい銀行 御中		3367 委託先区分 印鑑照合 口座No.照合 コード登録 証印
私は、下記の収納企業から請求された金額を私名義の下記預金口座から預金口座振替によって支払うこととしたいので、預金口座振替規定を確認のうえ依頼します。		
収納企業名	口座番号は7桁以下の時は右詰めにし、空欄に0を記入ください。 例：12345 なら 0012345 と記入	
預金種目 1.普通 2.当座 口座番号	銀行への届出印 株式会社 関西みらい銀行 支店 金融機関コード 0159 店コード	支店・出張所名は必ずご記入ください。 1枚目に引落口座の銀行お届け印 ※印鑑レス口座の場合は、任意の印鑑を押印ください。
預金者名 (フリガナ) 引落を行う口座の口座名義 (法人名義口座の場合、代表者名等、銀行に届けている名義どおりに記入してください)	支店コードも記入してください。	
振替日 収納企業の指定する日(銀行休業日の場合は翌営業日)		

— 預金口座振替規定 —

- 銀行に請求書が送付されたときは、私に通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえ支払ってください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳、同払戻請求書の提出または小切手の振出しはしません。
- 振替日において請求書記載金額が預金口座から払戻すことのできる金額(当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む。)をこえるときは、私に通知することなく、請求書を返却してもさしつかえありません。
- この契約を解約するときは、私から銀行に書面により届出ます。なお、この届出がないまま長期間にわたり会社から請求がない等相当の事由があるときは、とくに申出をしない限り、銀行はこの契約が終了したものとして取り扱ってさしつかえありません。この預金口座振替について十分に協議を生じても、銀行の責めによる場合を除き、銀行には迷惑をかけません。
- (不備返却事由)
1. 預金取引なし
2. 記載事項等相違
(店名、預金種目、口座番号、口座名義)
3. 印鑑相違
4. その他

銀行使用欄	(不備返却事由) 1. 預金取引なし 2. 記載事項等相違 (店名、預金種目、口座番号、口座名義) 3. 印鑑相違 4. その他
-------	---

お引き落としを希望する方のご氏名をご記入ください。

(収納企業使用欄) (フリガナ) 契約者名 職務上氏名 (弁護士法人会費の引落の場合は法人名のみ) 住所 所属事務所住所又は自宅住所 (〒 () () ()) 契約者番号等		料金等の 収納依頼 企業名 料金等の 種類
---	--	---

2枚目の契約者印欄に本人の認印

注意事項

- 銀行お届け印の誤りや印鑑不鮮明、印鑑漏れで銀行より受付されず書類が返却されるケースが多く見受けられますので印鑑はお届け印かどうか必ずご確認のうえ、鮮明に押印ください。
- 印鑑レス口座をご指定の場合は、任意の印鑑を押印ください。追って銀行から意思確認等の連絡が届く場合があります。
- 記入に誤りがあり、訂正が必要な場合は、訂正箇所に二重線を引き、その上に訂正印(銀行お届け印)を押印し、空いたスペースに正しい内容をご記入ください。なお、複写式ですので誤って記入した場合の訂正印(銀行お届け印)は2枚目にも押印が必要です。
- 口座番号7桁の数字のうち1箇所の数字を誤った場合は一旦すべての数字に二重線を引き、その上に訂正印(銀行お届け印)を押印し、空いたスペースに再度正しい口座番号をご記入ください。
- ご提出いただくのは用紙の1枚目と2枚目です。3枚目は本人控えとなりますので外していただき、お手元で保管ください。